

■法学政治学研究科の教育課程編成・実施の方針 (Curriculum Policy ; CP)

法学政治学研究科は、本研究科の学位授与方針 (DP) を踏まえ、次のような方針で教育課程を編成・実施する。

<法学政治学研究科>

<法律学専攻>

博士前期課程

- (CP 1) 社会と専門学会に有用で適切な課題を自己の専門分野で設定する能力 (DP 1) を養成するために、各自の専攻分野に加えて隣接学問分野の授業を選択することができるように、多様な授業科目を設置する。
- (CP 2) 各自の専攻分野において先行研究の正確な理解を踏まえた信頼性が高い研究を遂行する能力 (DP 2) を養成するために、基本研究と特殊研究の重層的な教育課程を編成する。教育課程とDPの各項目との関係はカリキュラムマップ (付表) によって示す。
- (CP 3) 学会において発表したり、論文を執筆したりする能力 (DP 2) を養成するために、研究指導計画に基づいた研究指導を提供する。

博士後期課程

- (CP 1) 社会における最先端の課題を自己の専門分野で設定する能力 (DP 1) を養成するために、各自の専攻分野に加えて隣接学問分野の授業を選択することができるように、多様な授業科目を提供する。
- (CP 2) 各自の専攻分野において最先端の研究を遂行する能力 (DP 2) を養成するために、基本演習と特殊演習の重層的な教育課程を編成する。教育課程とDPの各項目との関係はカリキュラムマップ (付表) によって示す。教育課程とDPの各項目との関係はカリキュラムマップ (付表) によって示す。
- (CP 3) 国内外の学会や専門雑誌などで発表し、関係研究者との議論に積極的に参画したり、共同研究に参加したりする能力 (DP 2) を養成するために、研究指導計画に基づいた研究指導を提供する。

<政治学専攻>

博士前期課程

- (CP 1) 社会と学界に有用で適切な課題を自己の専門分野で設定する能力 (DP 1) を養成するために、各自の専攻分野に加えて隣接学問分野の授業を選択することができるように、多様な授業科目を設置する。
- (CP 2) 各自の専攻分野において先行研究の正確な理解を踏まえた信頼性が高い研究を遂行する能力 (DP 2) を養成するために、基本研究と特殊研究の重層的な教育課程を編成する。教育課程とDPの各項目との関係はカリキュラムマップ (付表) によって示す。
- (CP 3) 論文やタームペーパーを執筆し発表する能力 (DP 2) を養成するために、研究指導計画に基づいた研究指導を提供する。
- (CP 4) 学内外の研究者を招いて最先端の研究の発表の場として「政治学基本研究 III」を設け、学生の研究発表も可能にしている。

博士後期課程

- (CP 1) 最先端の研究課題を自己の専門分野で設定する能力 (DP 1) を養成するために、各自の専攻分野に加えて隣接学問分野の授業を選択することができるように、多様な授業科目を提供する。
- (CP 2) 各自の専攻分野において最先端の研究を遂行する能力 (DP 2) を養成するために、基本

演習と特殊演習の重層的な教育課程を編成する。教育課程とDPの各項目との関係はカリキュラムマップ（付表）によって示す。

(CP3) 国内外の学会や専門雑誌などで発表し、関係研究者との議論に積極的に参画したり、共同研究に参加する能力（DP2）を養成するために、研究指導計画に基づいた研究指導を提供する。

●（付表）法学政治学研究科（法律学専攻）のカリキュラムマップ

	(DP1)	(DP2)
(博士前期課程) 基本研究	◎	◎
(博士前期課程) 特殊研究	◎	◎
(博士前期課程) 高度学際科目	○	○
(博士前期課程) 研究指導科目	◎	◎
(博士後期課程) 基本演習	◎	◎
(博士後期課程) 特殊演習	◎	◎
(博士後期課程) 研究指導科目	◎	◎

●（付表）法学政治学研究科（政治学専攻）のカリキュラムマップ

	(DP1)	(DP2)
(博士前期課程) 基本研究	◎	◎
(博士前期課程) 特殊研究	◎	◎
(博士前期課程) 高度学際科目	○	○
(博士前期課程) 研究指導科目	◎	◎
(博士後期課程) 基本演習	◎	◎
(博士後期課程) 特殊演習	◎	◎
(博士後期課程) 研究指導科目	◎	◎